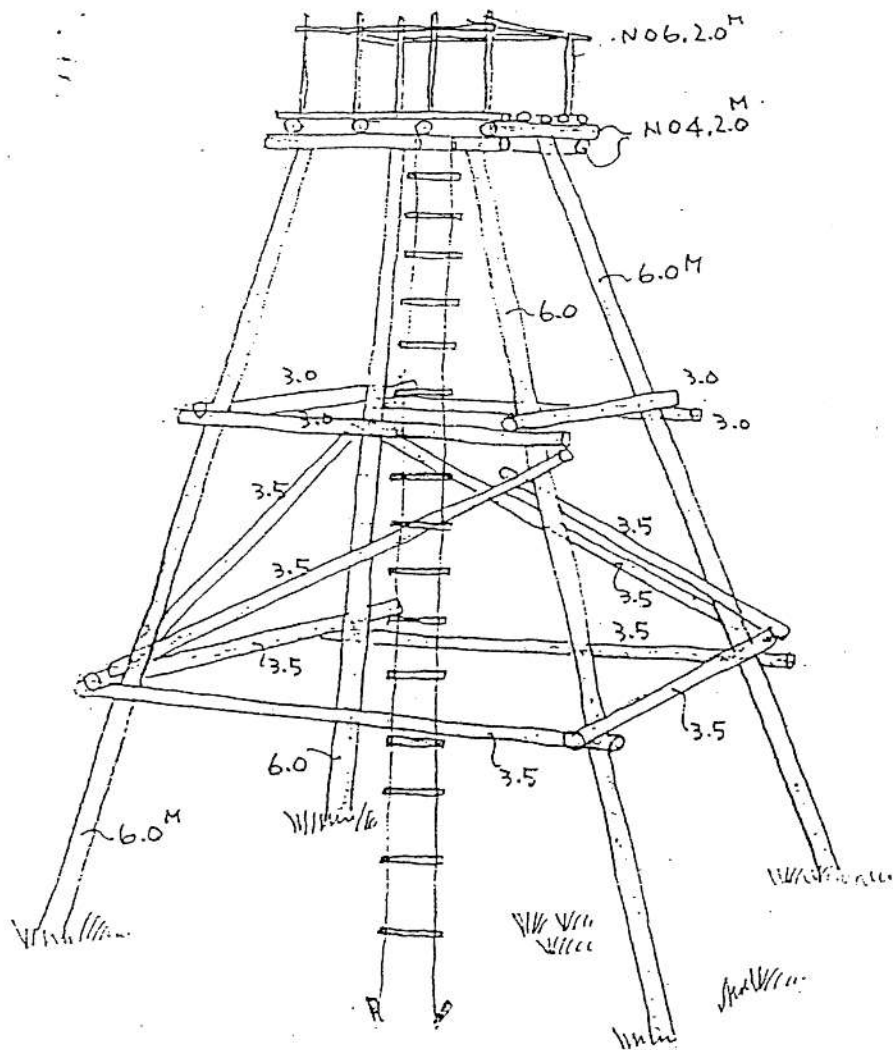


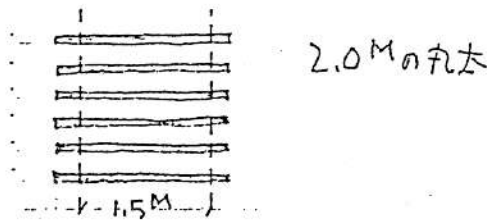
№6 ものみ台。



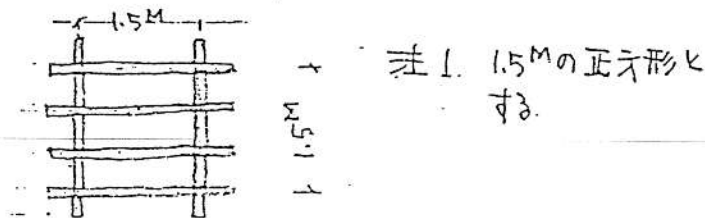
- | | | | | | | |
|---|------------------------|----------------|----|-------------|-----------------|---|
| 1 | 6.0 ^M 丸太台脚 | 4 ^本 | 9 | 梯子用口-7° | 10 ^M | 2 |
| 2 | 3.5 ^M 筋下横 | 8 | 10 | 台を起す口-7° | 15 ^M | 4 |
| 3 | 3.0 ^M 中段横 | 4 | | 頭荒+7. (約3M) | 100 | |
| 4 | 2.0 ^M 上段横 | 6 | | | | |
| 5 | 2.5 ^M 上筋遣 | 2 | | | | |
| 6 | 2.0 ^M 手摺上踏場 | 9 | | | | |
| 7 | 1.5 ^M 手摺子 | 4 | | | | |
| 8 | 0.7~ | 梯子横 | 15 | | | |

A 準備

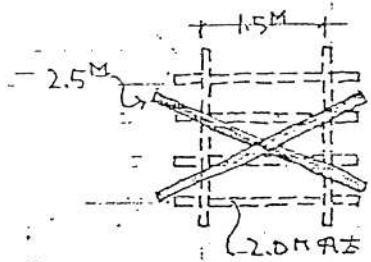
1 上段横丸太6本を並べて下図の寸法の所にしるしをつける。



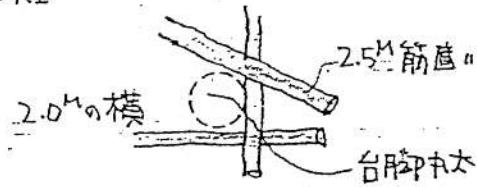
2 踏場の台を地上で組



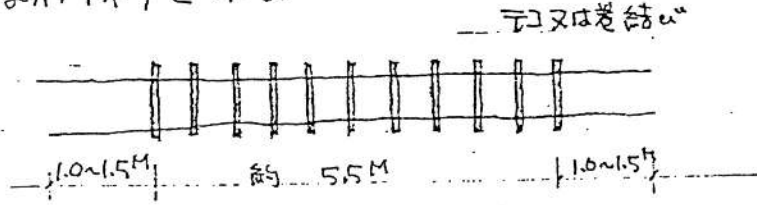
3 踊場に筋違丸太を取り付ける。



- 注1 筋違丸太は 台のウラ側に取付け
- 注2 4角の所は 脚丸太が入る隙にあけておく



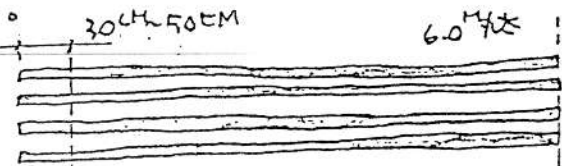
4 なわ梯子を作る。



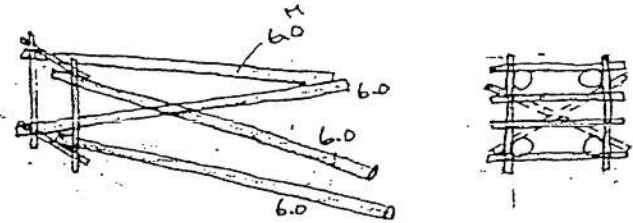
テコ又は巻結び

- 注1 各横の木(板丸太)は等間隔にする
- 注2 0-7°より横の木の出は長分(10cm以上)にする
- 注3 作る時 0-7°の先端を杭に固定に作り作る

5 6.0M丸太(台脚)を4本並べて寸図の所にしるしをつける。



6 準備1で組んだ踊場台を壁直に立て、台脚4本を取り付ける。

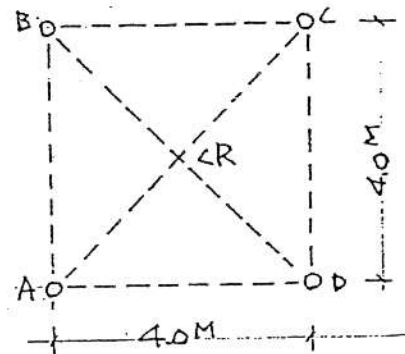


- 注1 台脚4本は同じ長さとする
- 注2 台脚取付け所は踊場丸太の内側

7 起す時の0-7°を取り付ける。

8 なわ梯子を取付ける。

9 組み立てる場所に4本の台脚の位置を決定して穴を掘 (深さ 20cm~15cm)

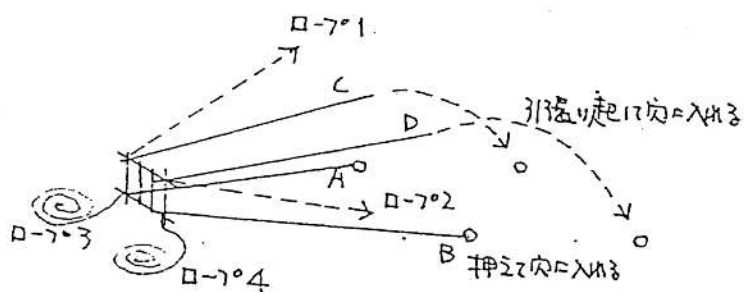


- 注1 正交型である
- 注2 対角線の長と同じ

10 組み立てる穴の所に台脚の根元を移動する。

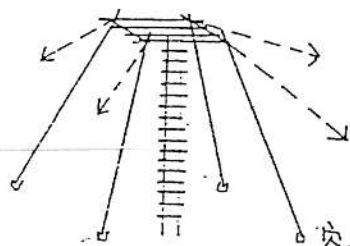
B 組み立て

- 1 4本の $\square-7^\circ$ と4本の台脚丸太に各スカウトは配置を担し作業に入る。
- 2 A,Bの脚丸太は移動しない様に押えて各々の穴に入れる。
- 3 C,Dの脚丸太を引張って起し各々の穴に入れる。
- 4 2本の $\square-7^\circ$ は起すのに使用する。
- 5 2本の $\square-7^\circ$ は起し過ぎない様に引張る。



注1 引張り起す $\square-7^\circ$ の方向は 45° の方向。

注2 ねじれのない様に起す。



立て起したならば

- 6 下段横丸太を同じ高さに取り付ける。
- 7 筋違丸太を取り付ける。
注1 ねじれを直してやら取り付ける。
- 8 中段横丸太を同じ高さに取り付ける。
- 9 踊場の手摺を取り付ける。

